

謹賀新年

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

2026年の干支は「午」、情熱と行動力、勢いに満ちた年といわれています。皆さんにとって活気に満ちた素晴らしい年になる事を心より祈念申し上げます。世界では今なお戦火が止むことなく、尊い命が奪われ、人々の暮らしは、弱い立場の方ほど深刻さを増しています。また、この所の気候変動は日々の暮らしで実感するほど急速な環境変化をもたらしています。混沌とする社会情勢の中、物価高、貧困や格差の広がりなど、暮らしを取り巻く環境は厳しさや、様々な困難に直面しています。

生協はご自身、ご家族の暮らしを良くしようと参加してくださっている組織です。お一人おひとりの暮らしの願いを伺い、お互いを想う気持ち、助け合いを大切にしながら、一つひとつ願いを叶え、その積み重ねを大切に、みんなの願い、地域の、社会の課題解決に向かえるように力を合わせたいと思います。

能登半島地震発災から2年が経過しました。能登にお住まいの方々のくらしは大きく変わり、孤独・孤立、心身の健康問題等、被災地の方が抱える課題はまだ多いのが現状です。コープぎふでも離れた地の岐阜からも能登を笑顔にできないかとの想いから、様々な取り組みを行いました。今後も引き続き能登を応援していきます。

地域でお住まいの皆さんが、生協の事業や活動を通して、いつまでも住み慣れた地で健康で幸せにくらし続けられるようにと願い、努力を重ねながら皆様と一緒に歩みたいと思います。

新しい年もどうぞよろしくお願いいたします。

ね ざき しゅう いち
理事長 根崎 周一



つながる力で能登を笑顔に!

能登半島地震・奥能登豪雨災害被災地支援 ～コープぎふの取り組み報告～

能登を笑顔に! 応援募金

日本生協連が全国の生協に呼びかける「能登を笑顔に! 応援募金」の活動に賛同し、募金活動を行っています。皆さんから寄せられた募金は、炊き出しやサロン活動、物資提供などを行う活動のための支援や、コープぎふや日本生協連が取り組む被災地支援活動に活用しています。皆さん、ご協力いただきありがとうございます。

募金名	注文番号	金額
能登を笑顔に! 応援募金	3878	1口 100円
	3879	1口 1,000円

2026年1月3週注文締切りまで(店舗は1月20日(火)まで)

能登を笑顔にアクションプログラム 9月2日・3日

全国の生協職員や組合員理事、185名がこれまでの災害対応の振り返りと、被災地の現状を知るために石川県に集い、息の長い支援の必要性和防災・減災の取り組みの重要性について学びました。



▶地震によって隆起した駐車場(参加職員撮影)



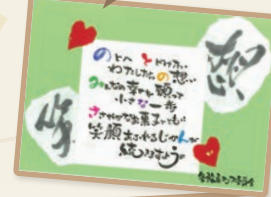
参加職員の感想

珠洲市の正院地区での被災者の方の話しでは、避難者をゲストでなくキャストとして考え、それぞれに役割を作り避難所運営を行ったという話が印象的でした。実際に珠洲市を歩くとまだまだ仮設住宅に住まれている方も多くみえますし、曲がった電柱、割れた地面、更地になった住宅街が心をえぐりました。(恵那中津支所 南さんの感想)

能登プレゼント企画 (石川県・市町社協&全国生協協働企画)

石川県内の市町社協では、在宅や仮設住宅に入居されている方への個別訪問やサロンの開催などに取り組み、被災者の見守りやコミュニティの再生に奮闘されています。全国の生協と社協が協働し、被災された皆さんに笑顔になっていただけるよう、地元の銘菓などをプレゼントする企画が提案されました。コープぎふもこの取り組みに参加し、エリア委員会の皆さんが選んだ地元の銘菓に作成いただいたメッセージを添えて被災地へお届けしました。この取り組みは組合員の皆さんにお寄せいただいた募金の一部を使用しています。

メッセージのひとつ



プレゼントを受け取った被災者の方からのメッセージ

仮設住宅の周りを散歩中に四つ葉のクローバーを見つけ、しおりにして支援活動をしている方や被災者に渡しています。以前は摘むばかりでしたが、今は自分の部屋の前でクローバーを育てています。(中略)こうしてコープぎふさんのように支援して下さる方へ少しでも恩返しをしたいとの気持ちです。



つな♡のと旅 9月27日・28日



長い避難生活や今なお復興までの長い道のりを進んでおられる能登の組合員、地域住民の皆さんの疲れを癒し、地元から離れた地で「能登を応援する気持ち」に触れ、前を向く力につながってほしいという想いで、日本生協連が企画した取り組みにコープぎふも参加しました。この企画には全国の10の生協が参加しました。被災されたコープいしかわの組合員親子10組20名を、高山市・下呂市にお招きし、もだに農園でのりんご狩りやさるぼぼ作りなどを体験していただきました。



▲もだに農園 BBQ・りんご狩り



▲コープぎふの組合員理事が贈った手描きメッセージ



▲さるぼぼ作り

参加者の感想

●被災した1年半前は大変でしたけど、岐阜県の方がこんなに気にかけてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

●1年半経っても能登を忘れないでくださり、とても嬉しかったです。親子で楽しませていただきました。

●可愛いさるぼぼを作ることができて、満足しています。さるぼぼを見るたび、コープぎふの皆さんや旅を思い出すと思います。また、今回のような企画をしていただけたら嬉しいです。



コープぎふ組合員から応援メッセージを募集し、能登に届けました

復興の具合はいかがですか。2年続けて珠洲市に寄付をしました。日常生活はどの程度戻ってきたのでしょうか。訪れたことはありませんが、自然豊かな美しいところと聞いております。いつか訪れたく、被災された皆さんが安心して暮らせるように祈っています。(恵那市 夏草あおさん)



祖母の生まれも石川県であり、小さな頃から山海料理をたくさん作ってもらっておりました。愛する能登を応援しています。(瑞穂市 みかんさん)



能登の食品を買って応援をすることしかできませんが、これからも応援していきたいと思います。(下呂市 たまさん)



7月に能登を元気づける為に旅行に行きました。実際能登に行ってみてまだまだ復興していない様子を見て胸が締め付けられる思いでした。能登に行ったことで私は何が出来たのか? また何が出来るのか? 考えさせられました。大変なことがあった後はきっと良いことが訪れると思います。ありきたりの言葉しか思い付かないですが... 頑張ってください。(郡上市 ひつじさん)



被災地の支援は、息の長い取り組みとして継続して取り組みます。